

当日の練習曲と留意点

練習日： 2019. 6 / 1 2

小節	練習曲と留意点	備考
アカシヤの径		男声合唱フェス(9/28)
全般	①前奏と後奏の“Lu”の“u”は口を深く開けてタツプリ目に ②タツタツタツのリズムのタテの線を合わせて ③ハミングは口の中を広げて鼻腔に音を当てるように	T1 全 全
23～30 小節	①“Ah—”は唇を緊張させて奥を開いて口形を作る ②27～28 小節のハーモニーを大事に	全
38 小節	“Hm”の3拍をシッカリ保って。ハーモニーも大事に	全
44～46 小節	“…ゆく—”の“く—”も3拍をシッカリ保って	全
55～62 小節	後奏の“Lu”は頭から声を合わせて入るように	T1
遠くへ行きたい		男声合唱フェス(9/28)
11～26 小節	多少の抑揚はあるが全体を通して“p”を意識して。ことばをハッキリさせて、でもレガートに。27小節からの“mf”へ繋いで	全
27～34 小節	①“とおいうみ”から“ゆめはるか—”まで <b>accel.&amp;cresc.</b> とし “ひとりたび”で <b>a tempo&amp;rit.</b> となり落ち着いて <b>decresc.</b> ②“とおい…”の“と”のT子音をシッカリ ③30～34 小節で同じ音が続く“Br”は声を胸に落とさずに ③31 小節のド <sub>4</sub> と 32 小節のド <sub>4</sub> #の音程が下がり気味。注意！	全 全 Br T2
35 小節～	“p”は思い切って弱く、39 小節からは更に弱く	全
37～38 小節	①テーマのことばなので“p”の範囲で少しずつ <b>cresc.</b> ②“めぐりあいたい”の“め”が強すぎ（息を流しながら柔らかく）そして“た”は口をタテに開けて	全
46～47 小節	ハミングの頭はポンとはじいて	全
全般	2連の8分音符がたくさんあるが音の長さを保つように	全
君は今でも		市民芸術祭(6/30)
全般	①歌詞を聞いているお客さんに伝えよう。ハッキリていねいに ②5小節からの“a—”はシッカリと入るように（mfで）	全
6 小節	シ・ラ・ト・ファの音の動きをもう少し強調して	T2
9～10 小節	“…いまでも—”の“も—”は明るく（口の奥を開けて）	T1・T2
15～16 小節	“…うみを—”の“うみ”をハッキリていねいに	T1・T2
19～20 小節	“…いるか—”の“か—”も明るく（口の奥を開けて）	全
29～31 小節	“きみをかいた人あぶらえ”は一息で（ソプラノ）	Br・Bs
34～35 小節	“ずっと—”のレ・ファ・シは <b>mp</b> だがシッカリ目に	T2・Br
36～40 小節	①“ほほえんでるか”の“ほほ”はハッキリ言い直して ②“…でるかVあいし…”とブレスを入れて	全 T1
59～61 小節	“ゆめの一ように—”の“ゆ”と“よ”をハッキリていねいに	全
89～90 小節	“きみはいまでも—”はスラーでなめらかに（ブツ切れにならないように）最後の“も—”も明るく（口の奥を開けて）	T1
93～94 小節	“…うみを—”の“を—”は口の奥を開けて明るく	全 (つづく)

雨後		市民芸術祭(6/30)
強弱について	①32小節からの f(フォルテ)は 35小節をこえて 36小節の頭まで ②27小節からの p(ピアノ)はことばをていねいに	全
2・10小節	①2回目の“ひとつー”の“つー”は f(フォルテ)のまま保って ②ソ・シ・レの和音を味わって。その響きを長めに	全
7~8・15~16小節	“うかぶー”の“か”は口を開かずに口の奥に響かせて	全
5~6・13~14・ 36~37小節	①“ゆうぐれ…”の“ゆ”は“iYu”とていねいに ②“…そらにー”の“にー”は3拍の長さを保って	全
20~21小節	旋律は T2 なので mf で T2 の音色をもう少し出して	T2
27小節	ラドミの和音を味わって	全
29~30小節	“くものきれめにVかしまやりー” ブレスを忘れずに	T1

\*歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1：市村